

Title	奥付
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾経済学会
Publication year	1965
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.58, No.1 (1965. 1)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19650101-0086">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19650101-0086</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

次号目次

論 説

初期労働組合組織における

国際的比較の問題……………飯田 鼎

——企業別組織の発生要因をめぐって

大河内・矢島両教授の理論の批判——

ロバート・オウエンとウィリアム・ゴドウィン(中)

……………白井 厚

資料・研究ノート

日本産業革命期における

漁業用生産手段生産部門の発展形態……………高山隆三

書 評

ポール・マントウ著

徳増栄太郎・井上 共訳 『産業革命』……………中村勝己

幸治・遠藤輝明

オスカー・ランゲ著

『政治経済学Ⅰ・一般的諸問題』……………飯田裕康

——「広義の経済学」の視点——

新刊紹介

前号目次

論 説

日本資本主義の再生産構造分析試論……………井村喜代子

——昭和三五年「産業連関表」を

手がかりとして(一)——

転形問題の帰結……………持丸悦朗

——労働価値説の理論的意義——

研究ノート

十八世紀フランスにおける開墾と干拓……………渡辺國廣

学 界 展 望

世界貿易の進路……………大山道広

——国際経済学会第二三回全国大会・覚書——

書 評

P・H・J・H・ゴスデン著

『二八一五年から一八七五年までの

イギリスにおける共済組合』……………飯田 鼎

新刊紹介

編 集 後 記

一九六五年、われわれは敗戦以後、二〇年の歳月をおくった。一九一八年に第一次大戦が終り、ほぼ二〇年後の一九三九年第二次世界大戦がはじまったことを考えると、この二〇年間は概して平和であって、朝鮮戦争とヴェトナムにおける今なおつづく不幸な民族独立戦争を除けば、戦禍は人類から次第に遠くなり、平和と繁栄が永く享受できそうに思える。しかし果してほんとうにそうなるだろうか？

わたくしは、今日の日本は、ある意味では、「戦争の時代」であると思う。なぜなら武器をもって闘い殺し合う戦争ではなくとも、交通事故の頻発、スモッグ、大気汚染、河川の濁濁、大都市への人口の集中など、いわゆる公害とよばれるものが、われわれの生活を危殆におとしめつつあり、われわれはいつどこかの路上で、ダンブカーにひかれて殺されるかもしれないのである。わたくしはこういう状態を社会戦争とよぶ。実際、年間一万五千人もの生命が、交通事故で無残にも失われていくのだ。これを戦争と呼ぼして何と表現できるであろうか。

戦争はそればかりではない。果てしない物価の上昇、その結果としての大衆の生活の不安、あせり、青少年の精神的浮浪児化の傾向、はては凶悪犯罪のまんえん、かぞえあげれば限らないのであるが、社会戦争を生み出す根元が現在の社会機構そのもののなかにあることは明らかである。

ところで、社会科学者の仕事は、こうした現代の社会に鋭いメスをいれることであり、現象の背後にある本質をつきとめ明らかにすることである。経済学もまさしくそのような課題を担わされている。本年もまた幾多の労作が本誌を飾ることであろう。読者の皆さん！そして執筆者諸子！旺盛な批判精神と勇氣とをもって今年も大いに頑張らましよう。(飯田 鼎)

昭和四十年一月一日発行

◎三田学会雑誌 第五十八巻 第一一〇号

定価 一三〇円(送料別)

東京都港区芝三田二丁目二番地

慶應義塾経済学会

編集兼 代表者 遊 部 久 蔵

発行人 電話三田(43) 二二一一

印刷者 東京都港区芝三田豊岡町八番地

安 倍 七 郎

半カ年予約購読料(送料共) 七二〇円

一カ年 " " 一四四〇円

御希望の方は左記へ購読料を添え御申込み下さい。

発 売 所 東京都高輪局区内三田綱町一番地

慶 應 通 信

振替口座番号 東京一五五四九七